



ファイナルレポート

第 8 回 国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー・診断機器専門見本市
2016 年 10 月 10 日～12 日
中国・上海新国際見本市会場

2016 年 10 月 13 日

analytica China 2016 数々の新製品発表と記録的な結果とともに幕を閉じる

Summary

- 伸び続ける出展社数と来場者数
- 新製品の発表が大好評
- 食品安全のテーマが注目を浴びる
- 「ラボ・セーフティ・ショー」が初開催



Facts & Data

会 期	2016 年 10 月 10 日(月)～12 日(水) 午前 9 時～午後 5 時 (最終日のみ午後 4 時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場 (Shanghai New International Expo Centre <SNIEC>)
主 催	Messe München GmbH MMI (Shanghai) Co., Ltd.
規 模	全 3 ホール 約 35,000 m ² (2014 年: 全 3 ホール 約 30,000 m ²)
出 展 企 業	25 ヶ国から 848 社 (2014 年 29 ヶ国から 695 社)
来 場 者 総 数	24,582 人 (CBB 2016 来場者含む) (2014 年 62 ヶ国から 18,775 人)
専 門 分 野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術
主 な 出 展 品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー
出展日系企業 (現地支社・代理 店出展含む)	アズワン(株)、(株)アタゴ、(株)エアータック、京都電子工業(株)、久保田商事(株)、コフロック(株)、(株)島津製作所、(株)写真化学、ジャスコインターナショナル(株)、昭和電工(株)、新光電子(株)、(株)住化分析センター、(株)ダイセル、田辺工業(株)、東京理化学器械(株)、東ソー(株)、ナノフoton(株)、(社)日本分析機器工業会、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、藤本科学(株)、フロンティア・ラボ(株)、(株)堀場製作所、ヤマト科学(株)、(株)ワイエムシィ 他(50 音順)
専 用 U R L	www.analyticachina.com (英語) www.analyticachina.com.cn (中国語)

2016年10月12日、第8回国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー・診断機器専門見本市 analytica China が上海新国際見本市会場にて成功裏に幕を閉じた。前回2014年開催時と比較して31%増となる(2014年:18,775人)計24,582人(CBB 2016の来場者を含む)の専門機器ユーザ、科学者、研究者が同見本市を訪れ、ラボテクノロジー・分析機器・バイオテクノロジー・診断技術業界における analytica China の主導的地位を再確認した。



analytica China 2016の展示面積は35,000平方メートルに及び、前回比は17%増となった。25の国と地区から848社の業界トップ出展社が参加した(22%増)。そして、ドイツ、英国、日本、台湾が、再びそれぞれの国・地区のパビリオンを見本市に設置した。

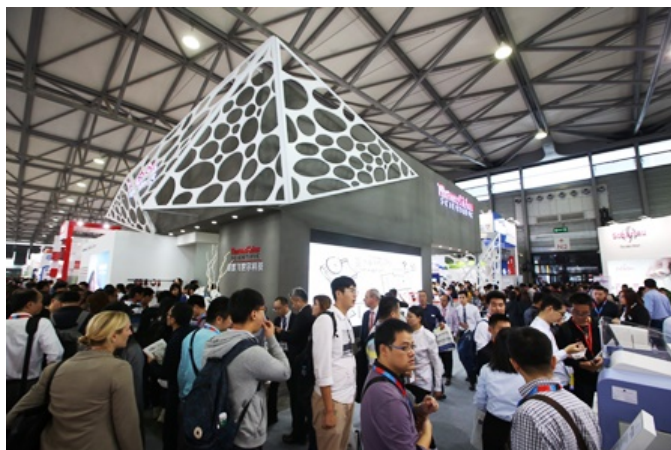
メッセ・ミュンヘン副CEOのラインハルト・ファイファーは、とりわけこの数字に非常に満足し、「analytica Chinaは、面積、出展社、来場者それぞれの数において、これまで以上に躍進を遂げた。影響力の上昇や業界からの需要の高まりは、analytica Chinaが未だ中国においてトッ

プの見本市であることを再び証明した。そして、この成功はanalyticaのネットワーク全体における世界の指導的役割を支えている」と述べた。

数々の新製品発表が来場者を魅了

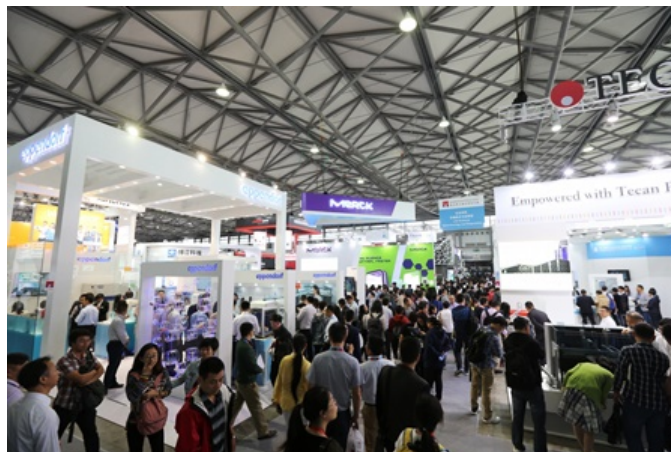
今年、多くの新製品が国また世界で初めて発表された。PerkinElmer社は、Qsight LC/MS/MSそしてグレードアップしたTorion T-9という2つのワールドプレミア製品を「drive innovation, explore the unknown」リリースカンファレンスにて、初めて世界市場に向け発表。(株)島津製作所は、超高速トリプル四重極型液体クロマトグラフ質量分析計、LCMS-8060をリリース。Analytik Jena社は、ライフサイエンス新製品会議を開催し、ContrAA®800 HR-CS AASを発表。IKA社は、IKA CBC 5 basic/controlを中国で初めて発表。また、Agilent社は、新しく、インテリジェント、かつ効率的で簡易化された画期的なIntuvo 9000を紹介。その他にも、例えばependorf社の大容量遠心分離機5920R、Mettler社のBench Smart 96、全自動スライド式融点計測システムMP80、Merieux社のPCRベース分子診断検査システムGENE-UP®などの発表もあった。こうした画期的な製品は、医薬研究開発、食品安全試験、環境モニタリングなど、人間の福祉に関わる重要な分野で活用できる。

PerkinElmer社EH(環境衛生)中国社長ビン・ジュー氏は、見本市に非常に満足し、「当社が新製品発表の場としてanalytica Chinaを選んだのは、同見本市が業界で非常に影響力があるからだ。この見本市は、中国の分析・バイオテクノロジー業界で最大のイベントであり、連日たくさんの顧客が訪れる。つまり、analytica Chinaは当社の新製品プロモーションに最高の機会を提供してくれるのだ」と述べた。(株)島津製作所分析・計測機器マーケティング部シニアマネージャーのジャンシャン・フー氏は、「見本市は、数、質の両方において素晴らしかった。当社は多くの新製品を展示し、analytica Chinaを世界に発表するプラットフォームとして利用した」と話した。analytica Chinaの初参加は素晴らしかったと話すUnilever社、研究開発部副部長のシンミン・リー氏は、「全体としての結果は素晴らしい。見本市には大手企業だけでなく、ビジネスチャンスをたくさん提供してくれる国内メーカーも多かった」とコメントした。



多様なプログラムと食品安全デー

2002年の初開催以来、analytica Chinaが常に注目してきたものの一つが食品加工業界だ。今年、新製品とテクノロジー以外で、analytica ChinaはAgilent社、PerkinElmer社、Thermo Fisher社などの大手出展社や業界団体と連携し、CEOの講演、中国・欧州食品安全フォーラム、ライブ・プレゼンテーション、食の安全をテーマにした来場者ツアーなどのイベントを組み込んだ「食品安全デー」を制定した。同プログラムは、業界のバリューチェーン全体をカバーしていただけてだけでなく、専門家による食品安全についての洞察に満ちた講演を特集し、この分野の発展を強力にサポートした。



Thermo Fisher Scientific社マーケティング & コミュニケーション部長のサンディ・ヤン氏は、「私は食品安全フォーラムに参加した。このフォーラムは、中国における食の安全に関するたくさんの新しいアイデアと発見を提供し、期待できる技術的な解決法について意見が交わされた」とコメントした。南京製品品質管理機関、品質管理および食品安全エンジニアのチー・チャン氏は、これまで全てのanalytica Chinaに参加してきた。同氏は、「この見本市は年々良くなってきている。当社は、購買決定ができるよう、最新のテクノロジーや製品を知るために参加している。今年は、特に中国の出展企業に感心した。海外製品に匹敵する製品を提供していたからだ」と話した。

研究室の安全や健康に関する特別ショー

analytica China 2016は今回初めて、親見本市であるドイツのanalyticaに端を発する研究室の安全や健康に関する特別ショーを紹介した。asecos社の専門家が、「研究室の防災と爆発処理」、「危険物の安全な取扱」、「健康リスクから自分自身と従業員を守る」に関するライブ・プレゼンテーションを行い、危険に直面した際の対処方法について、実際に役立つ情報を聴衆に提供した。さらに、大手研究室建設企業と専門家が、研究所の建設やコンピュータを用いた研究室管理についての講義を行った。

3,323人の来場者を動員したanalytica Chinaカンファレンス

analytica Chinaで見本市以外に常に注目を浴びているのは、人目を引くアカデミックなイベントだ。2016年のanalytica Chinaカンファレンスは、技術的応用やソリューションに専念し、最新の学術研究結果の見識だけでなく、最新の業界や製品の情報を来場者に提供した。同カンファレンスでは、食品安全、分析化学、環境、薬学などの時事問題に関し、100以上の専門家による講義が用意された。様々な分野から訪れた3,323人の来場者がanalytica Chinaカンファレンスに出席した。これは、2014年開催時と比較して41%の増加となる。



清華大学化学学部教授のリン・ジンミン氏は、「今年の見本市は特に大きく、カンファレンスの質は最高で参加者数もとても多かった。分析化学は私たちの生活の安全において不可欠だ。中国化学会を通じて、私たちは4人の基調講演者と16人のゲストスピーカーを招待し、素晴らしい国際会議にした」ことを挙げた。

もう一つの目玉となったのは、analytica ChinaとChina Brew China Beverage (CBB) 国際醸造・飲料製造加工技術・機器専門見本市の同

時開催だ。CBB は、メッセ・ミュンヘン共催による、飲料・液状食品業界においてアジアをリードする見本市だ。同じ場所で開催することで、来場者を共有できただけでなく、出展社と来場者にも同様に付加価値を提供し、食品業界における両見本市の影響力をいっそう高めることとなった。

次回の analytica China は 2018 年 10 月 31 日から 11 月 2 日にかけて、中国・上海新国際見本市会場にて開催される。

analytica China の詳細はオンラインでwww.analyticachina.com（英語）

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp（日本語） www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語）